

2024年度事業報告書

(2024年4月1日から2025年3月31日まで)

1. 事業の経過の概要

2024年度、公益社団法人大阪フィルハーモニー協会では「日本の音楽芸術の水準向上」、「社会・地域への貢献」、「青少年を中心とした次世代育成」を基本方針に掲げ、日本の文化芸術振興並びに大阪を中心とした地域貢献に資する活動に取り組んでまいりました。

年間109公演を行い、「新たなオーケストラ支援事業」助成金の活用により、従来、本格的なオーケストラの演奏が行われる機会の少なかった地域での演奏会や阪神・淡路大震災30年のメモリアル公演を実施しました。また、1991年大阪フィルハーモニー会館完成以来初めてとなる大規模改修工事を実施しました。

結果、各所からのご寄付や補助金、広告収入等のおかげで、当年度の財務実績は経常収益1,177百万円（前年度比+265百万円、計画比+157百万円）、経常費用1,073百万円（前年度比+69百万円、計画比+79百万円）、経常増減額104百万円（前年度比+195百万円、計画比+78百万円）と4期ぶりに黒字決算となりました。

2025年度は、引き続き当協会の重点課題である「自立に向けた収益基盤の充実」、「オーケストラの体制整備」の実現に向け、2023年末に日本芸術文化振興会より採択された「新たなオーケストラ支援事業」の助成金を活用する等し、財政的に安定した協会運営を目指してまいります。

2. 2024年度重点課題の実施状況

(1) 自立に向けた収益基盤の再構築

2024年度の公演回数は、当初の事業計画100公演（自主公演41公演、依頼公演59公演）に対し、実績109公演（自主47公演、依頼公演62公演）となりました。

定期演奏会では若手から巨匠まで国内外の様々なタイプの指揮者、独奏者を招き、古典派作品から現代曲まで幅広い作品に取り組みました。その他の自主公演では前年度の「メンデルスゾーン・チクルス ～メンデルスゾーンへの旅」に

続く特別企画として、尾高忠明音楽監督の指揮により「シンフォニストの理想を求めて ～モーツァルトとブルックナー」を開催し好評を博しました。

また、2024年度よりアーティスト・イン・レジデンスとして迎えたウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の首席クラリネット奏者、ダニエル・オッテンザマー氏と実施した「住友生命いずみホール特別演奏会」では、あえて指揮者を置かず「指揮に頼らず積極的に音楽創りをする」をコンセプトにしたコンサートを行い、世界レベルの音楽創りを体験することが出来ました。

(2) オーケストラの体制整備

楽団員の体制につきましては、中期的目標である80名体制の整備に向けて定期的に入団オーディションを開催しておりますが、当年度の入団者7名に対し、トロンボーン奏者1名、ヴィオラ奏者1名、コントラバス奏者1名が退団したため、2025年3月31日現在67名（内、特別契約奏者のコンサートマスター2名、首席ヴィオラ奏者1名、首席チェロ奏者1名）となっております。

トップレベルの楽団員の確保は演奏水準の維持・向上にとって不可欠であり、中期的目標を視野に引続き確保に努めてまいります。

コンサートマスターにつきましては、ソロ・コンサートマスターの崔 文洙氏、コンサートマスターの須山暢大氏、アシスタント・コンサートマスターの尾張拓登氏で分担し、演奏会へ出演していただきました。

(3) 大阪の都市魅力の向上に資する社会貢献活動の推進

大阪の秋の風物詩として街の活性化にも貢献している「大阪クラシック」については、19年目となる2024年度も桂冠指揮者の大植英次マエストロがプロデューサーを務め、2024年9月上旬の1週間開催いたしました。

2024年度はコロナ禍から完全に脱却し、無料公演を中心とした従来のスタイルに戻すことができました。激減した来場者数も大きく回復し、合計47,500人という結果に大阪市からも高い評価を頂きました。

また、地元西成区と、音楽活動を通じて西成区の文化芸術の振興を図り、人々が心豊かで生き生きと暮らせるまちづくりを推進することを目的として連携協定を締結しました。区のイメージ向上に貢献していきます。

3. 大阪フィルハーモニー交響楽団の運営状況

(1) 定期演奏会(文化庁補助による舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))

回数	開催日	指揮者	共演者	入場者数
第577回	2024.4.12・13	ミシェル・タバシュニク	—	1,902人
第578回	2024.5.17・18	尾高忠明	アンヌ・ケフェレック	2,174人
第579回	2024.6.21・22	横山 奏	金川真弓	2,903人
第580回	2024.7.19・20	ロベルト・フォレス・ベセス	ダニエル・オッテンザマー	3,033人
第581回	2024.9.23・24	尾高忠明	並川寿美、清水華澄、吉田浩之、加藤宏隆、大阪フィルハーモニー合唱団	2,291人
第582回	2024.10.18・19	バーティ・ベイジェント	田部京子	1,969人
第583回	2024.11.22・23	ロバート・トレヴィーノ	—	2,204人
第584回	2025.1.23・24	レナード・スラットキン	川浪浩一	2,730人
第585回	2025.2.14・15	尾高忠明	—	2,456人
第586回	2025.3.7・8	ジェイムズ・フェデック	—	1,959人

2024年度の定期演奏会は、指揮者や共演者が体調不良等により変更となった公演が4回(第579回、第580回、第582回、第586回)も発生するというアクシデントに見舞われましたが、演奏事業部の幅広いネットワークによって国内外から優れた代役を見つけ、いずれも高いレベルの演奏を聴衆に届けることが出来ました。

(2) シンフォニストの理想を求めて ～モーツァルトとブルックナー

(文化庁補助による舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))

尾高音楽監督と就任初年度より取り組んできた、ベートーヴェン、ブラームス、チャイコフスキー、ドヴォルザーク、フランス音楽、メンデルスゾーン・チクルスの特別企画に続くシリーズとして、モーツァルトが最晩年に書いた交響曲3作と生誕200年を迎えたブルックナーが初期に書いた交響曲3作を組み合わせるという独創的な企画に取り組み、計3回の公演を通して大阪フィルの表現力を磨くと共に、大阪市から「大阪の魅力を広く発信でき、新たな鑑賞者・

参加者の創出に結びつく工夫のある企画」として評価され、大阪市芸術活動振興事業助成金を受けました。またアフィニス文化財団の助成対象公演にも選ばれ、選考委員から「大阪フィルの歴史に残る画期的なシリーズになる」との高い評価をいただき、自信を深めることが出来ました。

(3) 東京定期演奏会

2月18日にサントリーホールで尾高監督の指揮のもと、松村禎三作曲「管弦楽のための前奏曲」とブルックナーの交響曲第4番「ロマンティック」を演奏しました。ブルックナーは、大阪フィルが長年大切にしてきた作曲家の一人であり、今回の第4番の演奏をもって、交響曲第0番から第9番（未完）まで、全10作品を尾高監督の指揮で演奏し終えたことになります。これにより、今後のブルックナー演奏がさらに説得力と重みを持つとともに、尾高監督の就任以来、長年かけて取り組んできた目標を達成することができました。また、これら10作品はすべてレコード会社フォンテックによって収録され、ブルックナー全集として後世に残ります。今回の演奏も、文化庁をはじめ、東京の主要な音楽評論家、マネジメント会社、企画制作会社などから高い評価を受け、日本のクラシック音楽界において大阪フィルの存在感を力強くアピールする機会となりました。

(4) マチネ・シンフォニー(文化庁補助による舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))

夜間のコンサートへの来場が難しいお客さまのために、平日昼間に開催する本格的なコンサートとしてVol. 31、Vol. 32の2公演を開催いたしました。

(5) ソワレ・シンフォニー(文化庁補助による舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))

クラシック音楽に馴染みのない方でも楽しんでいただける、古今東西の名曲を集めたコンサートとしてVol. 23、Vol. 24の2公演を開催いたしました。

(6) その他の自主公演・共催公演

「ドラゴンクエスト・コンサート」 1公演

「神戸特別演奏会」 1公演

「住友生命いずみホール特別演奏会」 1公演

「親子のためのオーケストラ体験教室」 4公演

「3大交響曲の夕べ」 1公演

「京都特別演奏会」 1公演

「ブルックナー生誕200年記念特別演奏会」 1公演

「第9シンフォニーの夕べ」 2公演

「新春名曲コンサート」 1公演

また、日本芸術文化振興会から採択されました「新たなオーケストラ支援事業」の一環として、以下の公演を行いました。

「本格的なオーケストラの鑑賞機会の少なかった地域の公演」 2公演（京都・奈良）

「祈りのコンサート～阪神・淡路大震災30年メモリアル～」 1公演

（7）大阪市からの委託事業等

地元西成区の音楽文化振興を目的として、大阪フィル会館を会場に毎年開催している「にしなりクラシック」を1公演開催いたしました。

また、「大阪クラシック」では大阪クラシック実行委員会からの委託事業としてオーケストラ公演を2公演開催いたしました。

大阪市の公募型プロポーザル方式で採択された「はじめましてオーケストラ」（大阪フィルと中学生の共演コンサート）を1公演開催いたしました。

（8）依頼公演

国や自治体（（7）の公演を含む）、企業・団体・ホールからの依頼公演を年間を通じて62公演開催し、クラシック音楽の普及はもちろん学校教育や企業・団体の社会貢献活動の取り組みに音楽の提供を通じて貢献することができました。

4. 大阪フィルハーモニー会館の運営

当協会が保有する大阪フィルハーモニー会館のメインホール(600㎡)・市民スタジオ(90㎡、40㎡×2の3室)を市民の音楽活動の拠点として貸与する事業を通じ、地域の音楽文化の普及、振興に貢献いたしております。2024年度は、1991年会館完成以来初めてとなる大規模改修工事を1～2月の2か月間で実施しました。工事期間中は、会館を閉館とし、ホール等の貸出を中止しておりました。そのため利用件数は、メインホール82件(前年度：93件)、市民スタジオ3室合計578件（前年度727件）となりました。

5. 法人の庶務

(1) 総会

- ・ 定時総会 開催日 2024年6月18日

決議事項

議案① 2023年度事業報告及びその附属明細書承認の件

議案② 2023年度貸借対照表、正味財産増減計算書、
それらの附属明細書および財産目録承認の件

議案③ 理事全員任期満了に伴う理事23名選任の件

議案④ 監事全員任期満了に伴う監事2名選任の件

(2) 理事会

- ・ 定時理事会 開催日 2024年5月14日

決議事項

議案① 第13回定時総会招集の件

議案② 2023年度事業報告及びその附属明細書承認の件

議案③ 2023年度貸借対照表、正味財産増減計算書、
それらの附属明細書および財産目録承認の件

議案④ 理事全員任期満了に伴う理事候補23名選任の件

議案⑤ 監事全員任期満了に伴う監事候補2名選任の件

議案⑥ 人事異動に関する件

- ・ 定時理事会 開催日 2025年3月13日

決議事項

議案① 2025年度事業計画及び収支予算書承認の件

議案② 特定資産（修繕費積立資産）取崩しの件

議案③ 「特定費用準備資金等取扱規則」制定の件

議案④ 特定費用準備資金（創立80周年記念事業準備資金）設定の件

(3) 会員の状況

本年度末の会員数	：法人	228社	個人	221名	計	449名
前年度末の会員数	：法人	235社	個人	222名	計	457名
差 引	：法人	▲7社	個人	▲1名	計	▲8名

(内 訳)

入 会	：法人	3社	個人	13名	計	16名
退 会	：法人	▲10社	個人	▲14名	計	▲24名

2024年度新規加入会員

(法人の部) 3社

株式会社鴻池組、株式会社構造総研、医療法人中野脳神経外科クリニック

(個人の部) 13名

森 達弥、森本 嘉郎、矢田 五郎、東野 利明、松村 隆、荒堀 秀太
澤 智子、図所 愛子、遠藤 格、大久保 克則、村上 哲、岡本 左和子
匿名1名

(4) 役員の異動

2024年度中の役員の異動は下記のとおり

(退任役員)

- ・ 常任理事 近藤 泰正氏 (株式会社竹中工務店 代表取締役執行役員副社長)
2024年6月18日退任
- ・ 常任理事 室町 鐘緒氏 (株式会社三菱UFJ銀行 名誉顧問)
2024年6月18日退任
- ・ 常任理事 森崎 健志氏 (株式会社大阪ガス 執行役員秘書部長)
2024年6月18日退任
- ・ 理事 安藤 恭輔氏 (アサヒビール株式会社 総務部部長)
2024年6月18日退任

- ・ 理事 西岡 信雄氏（大阪音楽大学 名誉教授）
2024年6月18日退任
- ・ 理事 永井 靖二氏（株式会社大林組 専務執行役員）
2024年6月18日退任
- ・ 理事 三村 千賀氏（株式会社毎日放送 事業局長）
2024年6月18日退任
- ・ 監事 森下 文夫氏（公認会計士）
2024年6月18日退任

（新任役員）

- ・ 常任理事 光枝 良氏（株式会社竹中工務店 専務執行役員）
2024年6月18日就任
- ・ 常任理事 沖原 隆宗氏（株式会社三菱UFJ銀行 特別顧問）
2024年6月18日就任
- ・ 常任理事 林 直久氏（大阪ガス株式会社 理事秘書部長）
2024年6月18日就任
- ・ 理事 竹下 伸介氏（アサヒビール株式会社 西日本統括総務部長）
2024年6月18日就任
- ・ 理事 西川 真次氏（株式会社大林組 執行役員大阪本店建築事業部
副事業部長）
2024年6月18日就任
- ・ 理事 入江 進氏（株式会社毎日放送 事業部長）
2024年6月18日就任
- ・ 理事 田尻 哲也氏（株式会社ダイヘン 代表取締役会長）
2024年6月18日就任
- ・ 監事 日潟 一郎氏（公認会計士）
2024年6月18日就任

※ 各氏の所属会社・団体での職位は、いずれも就任・退任時の職位

以上

公益社団法人大阪フィルハーモニー協会 役員一覧
(2025 年 3 月 31 日現在)

理事長	奥 正之	理 事	西川 真次
常務理事	小川 弘	〃	東 寿
常任理事	沖原 隆宗	〃	三宅 克典
〃	角元 敬治	〃	山本 卓彦
〃	新沼 宏		
〃	林 直久		
〃	福田 里香		
〃	松村 孝夫		
〃	光枝 良	監 事	長田 晃一
理 事	入江 進	〃	日潟 一郎
〃	大場 英幸		
〃	小原 一泰		
〃	川合陽一郎	顧 問	太田 房江
〃	斉藤 裕典	〃	小野寺昭爾
〃	多賀谷克彦	〃	北岸 松男
〃	竹下 伸介	〃	筒井 義信
〃	田尻 哲也	〃	橋本 雅博
〃	玉井 順一		
〃	中谷 敏昭		